



ごみ減量・リサイクル
推進啓発キャラクター
メビウスちゃん



●編集・発行 仙台市環境局家庭ごみ減量課
●電話 214-8226

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

令和5年度クリーン仙台推進員委嘱式・表彰式を開催しました	1P
10月は食品ロス削減強化月間です 他	2P
仙台市環境局からのお知らせ	3P
フードドライブを実施しています	4P



7月12日、「令和5年度クリーン仙台推進員委嘱式・表彰式」を国際センターで開催し、推進員に委嘱された方や永年勤続表彰を受けられる方など、約250名の皆様にご出席いただきました。

式では、市長から各区の代表の方に委嘱状と感謝状をお渡しするとともに「本市では、この4月より他の政令市に先駆けて、新たに製品プラスチックの収集を開始いたしました。クリーン仙台推進員の皆様にも周知などにご協力をいただいた結果、家庭ごみの量も着実に減っているところであり、順調なスタートを切ることができました。改めて皆様のご協力に感謝いたします。」と挨拶しました。

◆令和5年度クリーン仙台推進員委嘱式・表彰式を開催しました

《表彰者の声》
永年勤続表彰を受けられた、荒町西部町内会の加賀はつ子様からお話を伺いました。加賀様はこれまでの活動を振り返り、「長年、ごみ集積所をクラス被害から守ったり、管理してきました。今日も清掃してから式典に参りました。活動はこれからも続けたいと思っています。若い世代の方々にも広げていきたいです。」とお言葉をいただきました。



また、来賓の仙台市連合町内会長副会長の大西憲三様から、「推進員の皆様には、日頃より地域の環境美化活動や集積所の管理等にご尽力いただいております。地域の皆さまが暮らしやすく、きれいなまちを維持することができているのは、推進員の皆様のお力添えもあってのものと考えております。」と祝辞をいただきました。

問：家庭ごみ減量課 214-8226

フードドライブを実施しています ～家庭から出る食品ロスの削減にご協力ください～

仙台市では、まだ食べることができるにもかかわらず捨てられてしまう食品ロスを削減するため、事業者と協力し、自宅等で余っている食品を持ち寄りフードバンク団体へ寄付する「フードドライブ」を実施しています。

令和5年度は32カ所に回収拠点を設置し、回収拠点からの食品の運搬を下記の法人の皆さんにご協力いただいております。

家庭や職場に眠っているまだ食べられる食品がありましたら、ぜひご協力ください。

1. 回収拠点

①常設回収拠点(令和6年3月31日(日)まで) 27カ所

イオン市内5店舗(仙台店、幸町店、イオンスタイル仙台卸町、中山店、富沢店)、ヤマザワ市内2店舗(住吉台店、中田店)、藤崎本館、フードマーケットフジサキ、エスパル仙台、イトーヨーカドー(アリオ仙台泉店)、宮城ダイハツ販売市内7店舗(六丁の目店、仙台港北インター店、仙台栗生店、仙台黒松店、仙台泉店、長町店、中田店)、青葉区役所、宮城野区役所、若林区役所、太白区役所、泉区役所、仙台市福祉プラザ、仙台市市民活動サポートセンター、葛岡・今泉リサイクルプラザ

②その他回収拠点(毎月第2週または第3週の木曜日から日曜日) 5カ所

東急リハビリセンター(泉中央センター、東北支店仙台センター、仙台東口センター、仙台駅前センター、長町南センター)

※各施設の閉庁・閉館・休業日を除きます

※回収時間は、各施設の開庁・開館・営業時間となります



回収した食品の一部

2. 回収品目

賞味期限まで1カ月以上ある常温保存ができる食品(生鮮食品以外)

※アルコール類は受け入れません(みりん、料理酒は提供可)

3. 運搬に協力していただいている事業者

日本たばこ産業株式会社東北支社、有限会社宮城中央保険、株式会社パソナ、一般社団法人アート・インクルージョン、BTM株式会社、リコージャパン株式会社宮城支社、社会福祉法人つどいの家、東急リハビリ株式会社、社会福祉法人あおぞら、明治安田生命保険相互会社仙台支社

問：家庭ごみ減量課 214-8229

10月は食品ロス削減強化月間です

「食品ロス」とはまだ食べられるのに捨てられている食品のことです。国内では年間約523万トンの食品ロスが発生し、国民一人当たり毎日お茶碗1杯分に近い量のごはんを捨てているのと同じくらいの量だといわれています。

ここでは食品ロスを防ぐ『冷蔵庫の整理収納術』を簡単にご紹介します。無駄な買い物を防ぐことで節約にも役立ちますよ。



- ①場所を見える化「食品の“住所”を決めよう」
定番食材や使いかけ食材など、冷蔵庫にそれぞれの“住所”（置き場所）を決めておくと、収納の習慣づけができます。
- ②中身を見える化「透明容器で食べ残しをゼロに」
常備菜や夕食の残りなどを保存する場合は、透明の保存容器に入れましょう。何が入っているかを把握できるので、食べ忘れ防止になります。

普段の生活から「もったいない」を合言葉に少し意識するだけで、食品ロスは減らすことができます。ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」では、上記の冷蔵庫収納術のほか、食品ロス削減の方法やコツをまとめた「食品ロス削減ガイドブック」がダウンロードできます。ぜひご覧ください。



←ワケルネットはこちらから

問：家庭ごみ減量課 214-8229

仙台市環境局 かろうのお知ろせ

◆初期費用ゼロ太陽光発電システム導入補助制度をご活用ください

住宅におけるエネルギーの地産地消を推進するため、太陽光発電システムの導入促進に取り組んでいます。

本制度は、事業者が太陽光発電システムを設置し、住宅所有者が毎月サービスマを払う仕組みで高額な初期費用“なし”で導入できるのがメリットです。さらに市が事業者に補助することで、利用者の負担を軽減します。

エネルギー価格が高騰している今だからこそ、本制度を活用して太陽光発電システムを導入してみませんか。

詳しくは同封のチラシをご覧ください。



↑制度に関するホームページはこちら

問：地球温暖化対策推進課

214-8057

◆せんだい健幸省エネ住宅補助金をご活用ください

仙台市では、お家を新築・全体改修・部位別改修する方向けに断熱工事の一部を助成する補助制度を実施しております。高断熱・高气密なお家にすることで、健康で豊かな暮らしをつくってみませんか。

- 補助上限額
新築の方：最大240万円
全体改修の方：最大120万円
部位別改修の方：最大30万円
- 申請期限
新築の方：令和5年12月15日まで（引渡し前に申請）
全体改修・部位別改修の方：令和6年2月15日まで（工事完了後に申請）

●申請方法など、詳しくは市ホームページを「せんだい健幸省エネ住宅補助金」で検索いただくかお問い合わせください。



問：地球温暖化対策推進課

214-8232

◆秋のクマに注意！

秋は冬眠前のクマがエサを求めて住宅地の近くに出没することがあります。庭の柿や栗はクマの好物でもあるため、早めに収穫しましょう。また、クマは雑食のため、生ごみに引き寄せられることもありますので、屋外に長時間生ごみを放置することは避け、ごみを出すときは臭いがもれないよう気を付けましょう。

クマは、早朝や夕方に活発に活動します。目撃情報のある地域では、朝のごみ出し時や外出時には鈴やラジオを携帯しましょう。万が一クマに出会った場合には慌てず、向き合ったままゆっくり後退してください。

なお、クマに関する情報は市ホームページ（サイト内検索で「ツキノワグマ対策」と検索）をご覧ください。また、季節ごとの注意点をわかりやすくまとめた啓発動画も掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



↓クマに関する情報ははこちら



問：環境共生課

214-0013

『仙台メビウス通信』創刊第100号記念 「メビウスちゃん」グッズプレゼント！

本通信は平成10年10月の第1号創刊から、今回節目となる第100号発行を迎えました。それを記念し、「メビウスちゃん」エコバッグなどの♪グッズアソート♪を抽選で30名様にプレゼントします！

★応募方法 同封の申込書を家庭ごみ減量課まで郵送・ファクス（FAX：214-8277）

または下記二次元コードからご応募ください。

★応募期間 10月31日（火）まで

*当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

*賞品の発送は11月下旬を予定しております。



問：家庭ごみ減量課 214-8226